

大学における社会福祉課程の科目と、その他の科目の関係に関する一考察 ーシラバスのコーパスを用いた分析ー

○ 東北福祉大学 似内 寛 (6964)

キーワード：大学教育、社会福祉教育、コーパス

1. 研究目的

社会福祉の教育は資格の取得のみではなく、広範な知識や論理的な思考力を身につけ、社会福祉の実践に役立てられる人材を養成しなければならない。そのために、学生が履修科目を選択する場合に、科目間の関連性に関する情報をもうすこし追加することはできないだろうか。本報告では、A 大学社会福祉士養成課程のシラバスを用いて、履修モデルなどの科目編成側が関連づけている科目の関連以外の情報を抽出する方法について考察する。

2. 研究の視点および方法

社会福祉士の養成校である A 大学の、社会福祉士受験資格科目のシラバスに出現する語を抽出し、受験資格に係わる科目に特徴的に出現する語の特定を試みた。この分析により、シラバスに使用される語を介して、科目の関係性を見つけ出す。社会福祉士の育成を主な目的とする学科コースの、全科目（社会福祉士受験資格科目も含む）が分析対象である。

語の抽出には mecab を使用した。mecab は「京都大学情報学研究科 日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所共同研究ユニットプロジェクトを通じて開発されたオープンソース形態素解析エンジン」である。またシラバスに登場する語の特徴の分析には、Natural Language Toolkit (NLTK) を用いた。NLTK は 2001 年に Department of Computer and Information Science at the University of Pennsylvania で開発が始まった、自然言語処理のツールであり、データマイニングなどに用いられている。

3. 倫理的配慮

文献及び資料を用いるため、引用部分を明確にすること等、日本社会福祉学会研究倫理指針に従い研究を行った。

4. 研究結果

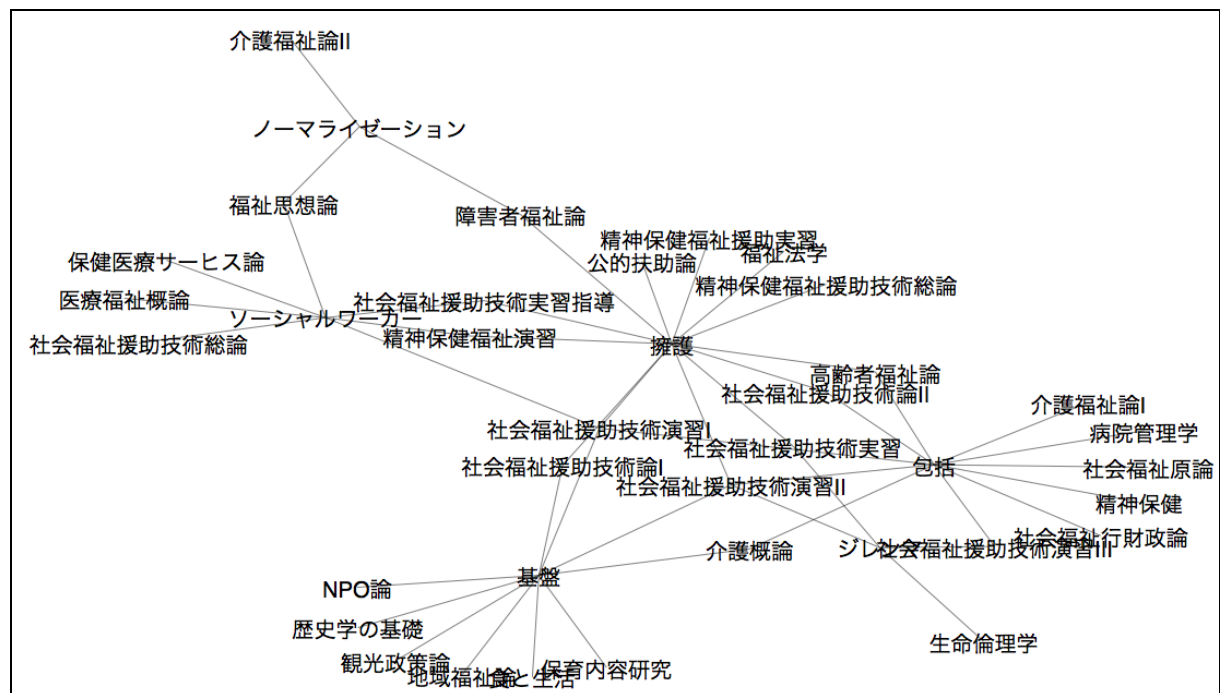
社会福祉士受験資格に必要な科目（以下「資格科目」）を含む、社会福祉課程で履修可能な全科目を対象に、シラバスに登場する語を分析した。科目は「資格科目」か「それ以外の科目」のどちらかに分類した。シラバスの文章は mecab を用いて形態素に分割し、それを NLTK に読み込みコーパス化した。

シラバスのコーパスを元に、NLTK を用いて、「資格科目」・「それ以外の科目」の別を推測するための「分類器」の「訓練」を行った。分類器には NLTK の単純ベイズ分類器 (nltk.NaveBayesClassifier) を使用した。分類器は本来、あるカテゴリー分けされていな

い文や文章を、コンピュータをもちいてカテゴリーに分けるために使用される(例えば名前から性別を推測するなど)。そのためすでにカテゴリー分けされているデータを用いて「訓練」し、分類の精度を上げる。NLTKではどの語が科目分類の判断に有効であるか、表示することができる。この機能を用いて「資格科目」に特徴的に出現する語を抽出した。以下は、「それ以外の科目」より「資格科目」に出現する確率が高い語である。

ネットワーキング、擁護(権利擁護／人権擁護)、財源、ジレンマ、スーパービジョン、モニタリング、法学、包括(包括的日常生活支援／包括的日常生活支援／包括的地域医療支援／包括的援助/包括システム化)、給付(社会保障給付費／自立支援給付)、社会情勢、更生保護制度、裁判所、トータルケアシステム、少子化、市町村、アウトリーチ、インテーク、エンパワメント、退院、権利、ストレングスモデル

この分析結果を利用して、資格科目の特徴を為す語を含む科目の関係性を図にすることが可能である。次の図は、資格科目である「社会福祉援助技術総論」のシラバスに含まれる「資格科目に特徴的な語」の「包括、基盤、擁護、ジレンマ、ソーシャルワーカー、ノーマライゼーション」と、これらの語をシラバスに含む科目を図にした例である。



5. 考察

本報告では、社会福祉士の受験資格科目に特徴的な語を抽出し、その語を介して科目同士の関係を示そうと試みた。この分析と異なる方法としては、語の出現度数を集計し、度数の高いものを特徴的な語として利用することが考えられる。しかし度数の高い語は「福祉、援助、社会、相談」など、いろいろな文脈で使用可能なものが上位に含まれ、それを含む他の科目を検索した場合に、必ずしも社会福祉の文脈では使用されていない場合が多いと考えられる。本報告の試みは、社会福祉に関する科目の関係を表す一つの形として、学生が参考にできる情報となり得るのではないかと考えられる。